資料２

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

令和元年度スケジュール

開催回	時期	テーマ	目的
1	7/17	連携会議キックオフ	参加者間の交流・情報交換
2	7/31	連携会議を考える	施設コンセプトの理解・共有、連携会議の進め方などへの意見・提案
3	9/6	施設名称を考える	名称案の検討 参考：その他名称検討の機会： 8/26 環境の学校（中高生・大学生世代向けコース） 10/19 公募・無作為抽出市民によるワークショップ
4 5	10/10 10/31	社会情勢インプット	勉強会[なぜ今、エコプラザ（仮称）が必要なのかを知る。] 第４回：クリーンセンター建設の歴史、第５回SDGsについて
6 7 8	11/6 11/20 12/11	プログラムを考える	施設の具体的なプログラム（プレ・開設後）の検討 → 事業計画案へ反映
9 10	1/15 1/30	利用のあり方を考える	施設の利用ルールの検討 → 利用規則案へ反映
11 12	2/12 2/25	評価のあり方を考える	施設の評価方法の検討 → 評価指標案へ反映
13	3/11	これまでの振り返り	連携会議の振り返り → 次年度の連携会議にフィードバック

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第３回

■開　催　日　令和元年９月６日（水）19時～21時

■開催場所　クリーンセンター管理棟　見学者ホール

■参加者数　41名

■実施目的　施設名称を考える

■実施手法　コミュニケーションディレクター・アートディレクターの森本千絵さんの進行によってグループでエコプラザ（仮称）の正式名称を検討

進め方は以下のとおり

・各人の名前の由来をイラストで紹介しあう

・エコプラザ（仮称）のイメージを描く

・描いたイメージに名前をつけて、8/26開催「環境の学校」で検討されたイメージも含めて投票しあう

Water 水
Aqua
クリーニング
サイクルン
cleanetful
RAIN
ランド
リゾート
バース
Be Birth
ALL HAPPY

Water 水
Aqua
Be Free
Time Free

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第４回

■開　催　日　令和元年10月10日（木）19時～21時

■開催場所　クリーンセンター管理棟　見学者ホール

■参加者数　32名

■実施目的　社会情勢のインプット

■実施手法

・クリーンセンター建設の歴史を、新クリーンセンター施設・周辺整備協議会とエコプラザ（仮称）検討市民会議の両会議に委員として参加した３名の方からリレー形式で紹介。

・３氏からの紹介を受け、グループで感想などについて意見交換し、出されたキーワードを発表。

意見交換のキーワード（抜粋）

- 30年後に処理場がなくなるようにする（エコプラザを考える上での命題）
- ゴミ減量⇒しくみを変える　みんなが勉強する
- 環境を守る！
- 温暖化
- 今までクリーンセンターの歴史や背景を知らなかった
- 大人も子供も（30年後の大人）
- 市民一人一人の意識　ジブンゴトにする
- 仕組みを変える
- 市民力
- アイデア
- 気づき
- 未来の姿　クリーンセンターがいらない社会
- これをどううまくやるか　灰をどうする？
- 市民の分析　思いに開きがありすぎる　思いの落差　なだらかにしていくことから始める
- 思いがわかったことはよい
- だけど思いは強すぎる
- ライトに言い換えることが大切
- 少しはわかる接点
- エコプラザでこどもたち（次世代）と考える
- 分別をおぼえる
- ここにいない人とどうやってつなげるか
- おもしろいこと　創造的なアイデア　屋上でビール　ごみピットバー
- 立場がちがう人同士が一緒に活かすことから
- 分かりあえない　理解しきれない

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第５回

■開　催　日　令和元年10月31日（木）19時～21時

■開催場所　クリーンセンター管理棟　見学者ホール

■参加者数　45名

■実施目的　社会情勢のインプット

■実施手法

・SDGｓについて、新渡戸文化学園山藤先生から、高校生との取り組みを通じて紹介。

・都立武蔵中高の学生が、実際の活動を紹介。

・各グループに中高生に入ってもらい、グループワーク後、記載した各グループのまとめを回遊して閲覧し、情報交換。

PROJECTS
オーガニックコットンブランド
目的
学生が新しい社会づくりに貢献する
内容
学生の立場から　服の"消費"を見直す
有機栽培の綿　公正に取引された商品
ターゲットは学生
2019/10/31

FSC
www.fsc.org
FSC® C022257
2019/10/31

2019/10/31

2019/10/31

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第６回

■開　催　日　令和元年11月6日（水）19時～21時

■開催場所　クリーンセンター管理棟　見学者ホール

■参加者数　38名

■実施目的　具体的なプログラムの検討

■実施手法

・小澤先生より、エコプラザ（仮称）が目指す、「深い学び」とはなにかについて講義。

・市の環境展の改変例を紹介。

・団体等で実施してきたプログラムの改変案、または、これから実施するプログラム案を各人で検討し、それぞれの案をグループで意見交換。

プログラムの改変案の事例

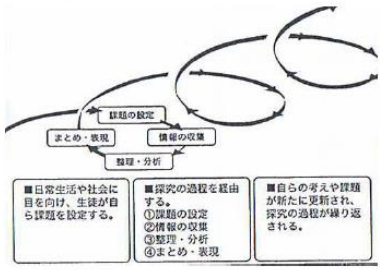
学びを魅力的にするには？

「！」: 気づき、感動＋関心喚起

「？」: 問う＜疑問＞＋調べる＜考える＞

「＋」: 引きつける、次の一歩へ

アクションリサーチ →
探究的な学習における
生徒の学習の姿



- 市役所ロビーの環境展

プログラム検討シート　　団体名: 武蔵野市役所

	案
プログラム名称 ： 環境展	プログラム名称 ：環境展～エコプラザ（仮称）開設迫る
いつ ： 6月環境月間（市6/3~6./7、図6/18~6/30）	いつ ： 6月環境月間中
どこで: 武蔵野市役所ロビー・市内図書館	どこで: 市の行政施設すべて
参加者: 市役所・図書館来訪者向け	参加者: 各施設来訪者向け
地域の課題、なぜやるか: 現在の環境問題についての市民の理解を深め、市の事業やエコプラザ（仮称）の周知をはかる	地域の課題、なぜやるか: 市民参加で環境保全の取り組みを全市的に始めていく契機とする
何をするか: 市役所: 環境についてのパネル展示 図書館: 環境テーマに沿った図書の展示・チラシの配布	何をするか: 各施設にエコプラザ（仮称）の正式名称・ロゴを掲示し、各施設ができる環境取り組みをセット展示する
どのように（誰とどういう手法で何を使って）: 市役所展示: ・生物多様性の概要説明（パネル4枚） ・生物多様性基本方針・市の関連事業紹介（パネル4枚） ・生き物と人の共生（パネル1枚） ・エコプラザ（仮称）の概要説明（パネル）3枚 図書館展示: ・生物とエネルギーについての図書10冊程度の展示 ・生物とエネルギーについてのチラシ・リーフレット配布	どのように（誰とどういう手法で何を使って）: 市役所展示: ・エコプラザ（仮称）の正式名称・ロゴの掲示 ・エコプラザ（仮称）連携会議参加団体の活動紹介 ・来訪者からの意見集約 各施設展示: ・エコプラザ（仮称）の正式名称・ロゴの掲示 ・施設および地域団体の活動紹介 ・来訪者からの意見集約
	改変のポイント: 市の事業だけでなく、多様な環境問題に対応する市民団体の活動も併せて紹介

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第７回

■開　催　日　令和元年11月20日（水）19時～21時

■開催場所　クリーンセンター管理棟　見学者ホール

■参加者数　41名

■実施目的　具体的なプログラムの検討

■実施手法

・エコプラザ（仮称）が目指すもの、これまでの連携会議の内容を振り返り、各検討のまとめや、プログラムを考える際の約束ごとなどについて、事務局よりプレゼン。

・グレタさんスピーチ映像投影。

・検討したいテーマごとにチームに分かれて、プログラムを考えるうえで主に扱いたいキーワードなどについて意見交換し、全10チームから意見交換の内容を発表。

エコプラザ（仮称）連携会議の実施状況について

第８回

■開　催　日　令和元年12月11日（水）19時～21時

■開催場所　クリーンセンター管理棟　見学者ホール

■参加者数　40名

■実施目的　具体的なプログラムの検討

■実施手法

・第7回と同じテーマごとに１０のテーブルに着席。

・その後、他のテーブルに移ってもよいことを促し、意思確認をしてから、プログラムの検討に入った。

・およそ１時間後から、発表時に各チームの検討内容を撮影・投影し、全体からの質疑と意見交換も併せて行った。

エコプラザ（仮称）連携会議　第8回（12月11日開催）　プログラム検討結果一覧　　令和元年12月13日

キーワード	目的	目標	時期	場所	対象	何をするか
こども	子どもが伝える主体になる	環境伝道師の育成	通年	エコプラザ、学校、保育園他	幼稚園年長、小学校低学年＋親	連携会議10テーマを学ぶプログラム
食	食とのつながりで環境問題を考える	エコプラザがフードバンクの窓口となる		エコプラザ	全市民	月1回食堂を開設
ごみ				エコプラザ？		エコクッキング
						食品ロス啓発（モデルルーム）
						地元野菜使用した地元シェフ・パティシエコラボ
						エコ料理・地場食品販売（週単位）
						ごみ減量体験ツアー
						情報発信コーナー
						マイバッグ・マイボトル販売（アニメ作家コラボ）
						SNS情報発信
						ごみの行方を知ろう
					小中学生	エコプラザ見学会
						家具・衣料・自転車再生処理相談会
						リサイクル品販売
						のみの市
						おもちゃの病院
						食器レンタル（有償・無償）
						お茶碗リユースコーナー
						包丁砥ぎの講習会
						段ボールコンポスト
						生ごみたい肥啓発コーナー
						エコプラザで職業体験
						障害者雇用
プラスチック	家庭でのプラスチック削減	プラスチック・ダイエット	今から継続	エコプラザ	市民・事業者・団体	企業やお店の取り組み紹介
						家庭での取り組みの見える化
						行政の取り組みの見せる化
水	健全な水の循環の管理・維持によって省エネ・脱炭素を進めSDGs達成に貢献する	水循環をめぐる啓発運動実施		エコプラザを核に千川上水		自然散策路をつくる
			定期的		市民一般・小中高生	ガイド付きエコツアーの実施（レインガーデン→千川上水）
緑	私たちが健康に生きる	武蔵野市生物多様性基本方針の実現				エコプラザの空間として土を残して地域の自然をモデルにビオトープを設置
						グローバルな環境問題を学ぶ
						地域の自然を学ぶ（現地での体験重視）
エネルギー	気候変動の深刻さの周知	コバンザメ企画の実施		3駅近くのコミセン・小中学校など		養蜂家とコラボした温暖化ミニ講座実施
						ゴーヤ苗無料配布回での温暖化ミニ講座
					大人	プラごみ×温暖化ミニ講座
				3エリアを毎年交代		環境フェスタと防災フェスタをひとつにして温暖化などのミニ講座＋抽選で景品
				小中学校	小中学生	授業での温暖化入門講座
					小学校3年以上＋保護者	ソーラーカー／ソーラーハウス工作教室
						省エネポイント探しのツール開発
教育	大人と子どもが一緒に学ぶ	学んだことを一つずつ教科書にする			子どもと保護者	衣食住から生産→消費までの過程を学ぶ連続ワークショップを開催し、何を買うのがよいかを考える テーマは身近な生活から子どもたちに出してもらい、扱っているお店等に聞く
SDGs	パートナーシップで住み続けられる街づくり	大人の義務教育を行う			大人	ごみ分別教室・ごみ検定
				エコプラザ		量り売り実験店
						分解パーツワークショップ・販売
衣服	子どもたちが環境について理解を深める	日本一エコな成果物を完成・展示・発表	学期ごとなど	実施：学校・エコプラザ	小中学生 学校単位	子どもたちが考えた日本一〇〇なものを事業者が可能な限り実現。その成果物を展示し過程を発表。
				成果発表：エコプラザ		

- この一覧をもとにどう実現していくか、各チームで検討する予定